



桜援団

令和6年1月25日

第759号

文責 教頭 釜屋雄一

保護者アンケート+学校自己評価の結果と分析

1月にお子様の学習用タブレットにて実施いただいた「保護者アンケート」につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございました。自由記述ご意見への回答については1月17日付け「桜援団NO.756」で報告をさせていただいております。回答数値の集計は1月中旬にできましたので、教職員による「学校自己評価」の結果とともに報告させていただきます。次ページ以降の表が集計と分析の結果です。下記の内容とともに参照ください。

保護者の取り組みについて

保護者の取り組みについては「1学校から出された文書を読んでいる」「2学校行事へ参加している」とともに、大変高い評価を維持しています。保護者の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。「PTA活動やボランティア活動への参加」については、大幅減になっています。本年度初めてPTA入会申し込みを実施したところ、PTAに入会しないご意向が複数寄せられました。役員を担うことの負担感が大きいという声が多かったことから、PTA常任委員の皆様と検討を重ねて、臨時PTA総会を紙面開催し、PTA役員の選考方法を大きく変えることを決定してまいりました。例えば、このようなPTA総会紙面開催の承認といったところでPTA活動に参加しているという意識をもっていただけるよう、情報伝達の内容や活動のあり方について、PTA役員の皆様とともに検討していきたいと考えています。

学校の取り組みについて

保護者アンケートで高評価だったのは、「8家庭連携」「13学習指導：個別懇談」「16特別活動」でした。「8」「13」については教職員の評価も高く、保護者の皆様と教職員の共通理解・協力体制は高いレベルにあるととらえています。ただ「16」は教職員の評価が近年との比較でもポイントが低く、今後、藤岡南中学校のよさを伸ばしていくという観点で、取り組みに力を入れていきます。

保護者アンケートで努力を要する項目は「11学習指導：わかりやすい授業」「12学習指導：基礎学力」「18生徒指導：問題行動対応」「20図書館」でした。これまで授業の質を高めるための教員研修には力を入れてきましたが、さらなる向上を求めて研修を重ね、その成果が生徒や保護者の皆様に伝わるよう努力してまいります。問題行動対応については、生徒一人一人の特性もとらえながら、安心安全な学校生活を守るために指導をしていきます。図書館の活用については、本年度後期から、教職員で共通理解の上、工夫した取り組みを始めたところです。今後の活動にご期待ください。

全体を通して、「わからない」という回答がかなり多くありました。本年度4月からおたより等の紙媒体配付を行わないこととし、ホームページやきずなネットでの情報発信に力を入れてきたつもりですが、内容がもの足りず、まだまだ保護者の皆様に学校の実情が伝わりきっていないを感じております。情報発信の内容について、改めて保護者の皆様にご理解いただけるよう、しっかり検討しながらお伝えしていきたいと考えています。

保護者アンケートの全ての結果を真摯に受け止め、教職員の力量向上を図り、生徒のよりよい成長を求めていけるよう努力します。

令和5年度 保護者アンケート 集計結果

令和6年1月25日 教頭

数値の単位 (%)	項目	保護者の取組への回答		とてもよくしている	している	あまりしていない	していない	****
		学校の取組への回答		とてもよい	よい	あまりよくない	よくない	わからない
番号	項目	4	3	2	1	0		
1	保護者の取組	学校から出される文書を読んでいますか。	17.7	67.3	14.2	0.9	****	
2		参観日などの学校行事へ参加していますか。	30.1	60.2	8.0	1.8	****	
3		お子さんと学校のことを話していますか。	27.4	51.3	21.2	0.0	****	
4		P T A 活動や学校のボランティア活動などに参加していますか。	2.7	20.4	46.0	31.0	****	
5	教育目標	学校の教育目標や教育方針について、学校はP T A総会や学校だよりなどでわかりやすく伝えているか。	11.5	57.5	4.4	0.0	26.5	
6	学校特色	特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。	13.3	61.1	2.7	0.0	23.0	
7	施設管理	校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとおこなっているか。	22.1	53.1	0.9	0.9	23.0	
8	家庭連携	保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。	16.8	68.1	4.4	0.0	10.6	
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせているか。	13.3	57.5	8.0	0.9	20.4	
10	学習指導	子どもが意欲的に授業に取り組むように工夫しているか。	14.2	54.9	6.2	0.9	23.9	
11	学習指導	一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。	6.2	41.6	7.1	0.9	44.2	
12	学習指導	基礎学力を身につける工夫をしているか。	8.8	54.0	5.3	1.8	30.1	
13	学習指導	個別懇談等で子どもの学習状況を的確に説明しているか。	21.2	65.5	7.1	0.9	5.3	
14	道徳教育	豊かな人間性や心を育てる道徳の指導をしているか。	16.8	64.6	0.9	1.8	15.9	
15	教育相談	子どもとのふれあいを大切にし、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。	15.0	56.6	6.2	0.0	22.1	
16	特別活動	学級活動、児童生徒会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるよう工夫しているか。	27.4	61.9	2.7	1.8	6.2	
17	生徒指導	基本的な生活習慣や規範意識の向上をはかるように指導しているか。	14.2	62.8	1.8	0.9	20.4	
18	生徒指導	問題行動の予防と早期発見、早期対応に努めているか。	8.0	50.4	1.8	0.9	38.9	
19	健康指導	子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。	13.3	61.1	2.7	1.8	21.2	
20	図書館	読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。	5.3	42.5	8.8	1.8	41.6	
21	情報指導	コンピュータの活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っているか。	8.8	56.6	0.9	0.9	32.7	
22	安全教育	子どもの安全を守る活動を積極的に進めているか。	13.3	65.5	2.7	0.9	17.7	
38	健全育成	子どもの健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進しているか。	12.4	53.1	3.5	0.9	30.1	

↑4と3の合計ポイントで次ページの比較分析をします

令和5年度 保護者アンケート 結果と分析

比較分析の記号の意味 →

★ = 85%以上の高評価を維持

○ = 向上している

▲ = 努力を要する 65%以下

数値の単位(%)

↓「とてもよい(4)」「よい(3)」の合計ポイントで比較分析しています

番号	項目	比較分析	昨年との比較	R5 4+3	R4 4+3
1	保護者の取組	学校から出される文書を読んでいますか。	★	-4.2	85.0
2		参観日などの学校行事へ参加していますか。	★	4.8	90.3
3		お子さんと学校のことを話していますか。		-11.8	78.8
4		P T A 活動や学校のボランティア活動などに参加していますか。	▲	-27.0	23.0
5	教育目標	学校の教育目標や教育方針について、学校はP T A総会や学校だよりなどでわかりやすく伝えているか。		-13.6	69.0
6	学校特色	特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。		-6.8	74.3
7	施設管理	校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとおこなっているか。		-12.5	75.2
8	家庭連携	保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。	★	0.9	85.0
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせているか。		-6.0	70.8
10	学習指導	子どもが意欲的に授業に取り組むように工夫しているか。		0.2	69.0
11	学習指導	一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。	▲	-8.0	47.8
12	学習指導	基礎学力を身につける工夫をしているか。	▲	-4.6	62.8
13	学習指導	個別懇談等で子どもの学習状況を的確に説明しているか。	★	-0.2	86.7
14	道徳教育	豊かな人間性や心を育てる道徳の指導をしているか。	○	20.5	81.4
15	教育相談	子どもとのふれあいを大切にし、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。	○	4.3	71.7
16	特別活動	学級活動、児童生徒会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるよう工夫しているか。	★	-1.2	89.4
17	生徒指導	基本的な生活習慣や規範意識の向上をはかるように指導しているか。		-4.2	77.0
18	生徒指導	問題行動の予防と早期発見、早期対応に努めているか。	▲	-6.1	58.4
19	健康指導	子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。		-6.8	74.3
20	図書館	読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。	▲	-0.0	47.8
21	情報指導	コンピュータの活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っているか。		-8.4	65.5
22	安全教育	子どもの安全を守る活動を積極的に進めているか。		-4.6	78.8
38	健全育成	子どもの健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進しているか。		-9.9	65.5

↑↑ 4と3の合計ポイントで比較分析しています ↑↑

令和5年度 学校自己評価 結果と分析

令和6年1月25日 教頭

番号は「保護者アンケート」に対応している（5～22、38）

評価の得点 → 4 = とてもよい 3 =まあまあよい 2 =あまりよくない 1 =よくない

比較分析の記号の意味 → ★ = 3.5以上の高評価を維持 ○ = 向上している ▲ = 努力を要する

番号	項目	評価内容	比較分析	R5 評価平均	R4 評価平均
5	学校教育目標	地域の特色や学校の実態に即した学校教育目標を設定し、児童生徒・保護者・地域の理解を得ている。		3.3	3.5
6	特色ある学校づくり	特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。	★	3.5	3.5
7	施設管理	施設・設備の点検・管理を日常的に行い、その機能を十分に生かして教育活動に活用している。	○	3.5	3.4
8	家庭・地域連携	保護者・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを進めている。	★	3.5	3.7
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせている。	★	3.5	3.7
10	学習指導	体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れた授業を展開し、児童生徒の学習を充実させている。	★	3.5	3.6
11	学習指導	個別指導、グループ指導やTT・少人数指導等の工夫を積極的に行い、個を生かす学習指導を充実させている。	▲	3.0	3.5
12	学習指導	指導方法や教材の工夫等により基礎基本の定着度を向上させていく。	▲	3.0	3.4
13	学習指導	子どもの学習状況について、懇談会等での的確に説明している。	○	3.4	3.3
14	道徳教育	学校教育活動全体を通じて、体験活動やボランティア活動を取り入れ、心の教育を充実させている。		3.4	3.5
15	教育相談	児童生徒との日常のふれあいを大切にするとともに、教育相談を計画的に実施し、児童生徒理解に努めている。	★	3.5	3.6
16	特別活動	学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等を活用し、児童生徒の自発的・自治的な活動の充実に努め、成就感、感動を味わわせている。	▲	3.1	3.1
17	生徒指導	基本的生活習慣の定着や規範意識の向上のために、具体的な方策を講じている。	○	3.2	2.8
18	生徒指導	いじめ、不登校、触法行為などの予防と早期発見、早期対応に努めて、職員の共通理解のもと組織的に対応している。	★	3.5	3.6
19	健康教育	心身の健康に留意し、主体的に健康づくりや体力づくりができる態度を身につけさせる指導を充実させている。		3.4	3.4
20	学校図書館教育	図書館の整備に努めるとともに、学校図書館司書との連携を図り、豊かな心を育む読書活動を進めている。	▲	2.8	2.6

番号は「保護者アンケート」に対応している（5～22、38）

評価の得点 → 4 = とてもよい 3 = まあまあよい 2 = あまりよくない 1 = よくない

比較分析の記号の意味 → ★ = 3.5以上の高評価を維持 ○ = 向上している ▲ = 努力を要する

番号	項目	評価内容	比較分析	R5 評価 平均	R4 評価 平均
21	情報教育	情報活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っている。	○	3.4	3.2
22	安全教育	自らの安全を守るための正しい知識と行動に関する指導を計画的に行い、意識の高揚を図っている。	○	3.4	3.3
23	教育課程	学習指導要領をふまえ、各学校の指導計画に基づいて、適切に実施している。		3.3	3.3
24	家庭・地域連携	地域・保護者ボランティア等を継続的に活用し、地域活性化に視点をおいた地域ぐるみの教育活動の展開に努めている。	○	3.5	3.3
25	家庭・地域連携	保護者や地域・近隣の園や学校、関係機関と連携した危機管理マニュアルを作成し、運用するよう努めている。	○	3.5	3.4
26	学校経営	教育活動推進のために、教職員の共通理解が図られ、学校が組織として機能している。	★	3.5	3.5
27	学校評価	学校評価の結果を教育活動の改善・充実に活用している。		3.3	3.3
28	園・小・中連携	こども園と小学校、小学校と中学校、のように近隣の園小中との指導の連携に努めている。		3.3	3.4
29	特別支援教育	特別な支援を要する児童生徒の状況を把握し、保護者・関係機関との連携を踏まえた個別の支援計画を立て、全校体制で支援している。	○	3.5	3.3
30	健康教育	健康な身体づくりに必要な食生活の充実に関する指導を、計画的に行っている。		3.2	3.2
31	国際理解教育	学習や行事等を通して共生の心を育てるとともに、小学校においては、小学校外国語活動を充実させている。	○	3.2	2.9
32	環境教育	主体的に環境保全に取り組む態度の育成に努めている。	▲	3.1	2.9
33	キャリア教育	望ましい勤労観、職業観がもてるよう、各学年に応じた系統的な指導を行っている。		3.3	3.4
34	教員育成	学校全体で、テーマを明確にし、組織的・計画的・継続的に現職教育研修が進められている。	○	3.6	3.5
35	教員育成	非違行為撲滅のため、計画的、継続的に職員が意識できるような取組が行われている。	★	3.7	3.7
36	教員育成	新たな学びのスタイルの推進のため、学校全体でICT活用能力の向上に努めている。		3.4	3.6
37	多忙化解消	学校全体で、多忙化解消に向けた取組を推進している。		3.2	3.2
38	健全育成	子どもの心身の健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進している。	○	3.5	3.3